

LANDRiV リリースノート

2014年 11月 28日

LANDRiV for Nivo バージョン 2.8.0

LANDRiV for Nomad/T41 バージョン 4.8.0

LANDRiV for SPS バージョン 2.8.0

LANDRiV for S3c バージョン 2.8.0

LANDRiV Office バージョン 1.8.0

株式会社 ニコン・トリングル

目次

◆ LANDRiV 新バージョンリリースのご案内	3
◆ 新規機能 および 改良内容	4
1. LANDRiV for Nivo/Nomad/T41/SPS/S3c、LANDRiV Office 共通で変更	4
2. LANDRiV for Nivo/Nomad/T41、LANDRiV Office 共通で変更	4
3. LANDRiV for SPS/S3c 共通で変更	5
4. LANDRiV for SPS で変更	5
5. LANDRiV for S3c で変更	5
6. LANDRiV Office で変更	5

◆ LANDRiV 新バージョンリリースのご案内

以下のとおり、LANDRiV の新バージョンをリリースいたしましたのでご案内いたします。

ソフトウェア名	バージョン	対応機種
LANDRiV for Nivo	2.8.0	Nivo H シリーズ
LANDRiV for Nomad/T41	4.8.0	<u>現行モデル</u> Nivo シリーズ NST-305Cr/307Cr,NST-C1r <u>旧モデル</u> GF-200N/200/300N/300/400N/400 シリーズ NST-100/200/300N/300 シリーズ DTM-400/500/600 シリーズ
LANDRiV for SPS	2.8.0	Trimble SPS トータルステーション シリーズ
LANDRiV for S3c	2.8.0	Trimble S3c トータルステーション シリーズ
LANDRiV Office	1.8.0	ニコン製トータルステーション同梱ソフト (2013年2月以降)

ご注意

LANDRiV Office は、ニコン製トータルステーションに同梱されているソフトウェアです。

本バージョンアッププログラムは、既に LANDRiV Office Ver.1.4.1、Ver.1.6.0、Ver.1.7.0 がインストールされているパソコンに対応した内容となっております。

本バージョンの主な変更点は、以下のとおりです。

- ① 座標データの一括削除、複数選択削除ができるように改良しました。
- ② 基本観測内、オフセット観測機能の円柱操作フローを改良しました。
- ③ 現場名の文字数制限数を増やしました。
- ④ データ出力の項目をカテゴリ化し、選択しやすくしました。

尚、詳細につきましては、下記内容をご確認ください。

◆ 新規機能 および 改良内容

1. LANDRiV for Nivo/Nomad/T41/SPS/S3c、LANDRiV Office 共通で変更

- 「座標データ」
 - 座標データの一括削除、複数選択削除ができるよう改良しました。
- 「設計データ」
 - プラス杭データの一括削除、複数選択削除ができるよう改良しました。
 - 路線が折れ線で構成されている場合、接戦方向角は 2 直線の接戦方向角の中間角として計算していますが、設計データの中心線接戦方向角の表示箇所が中間角ではありませんでした。屈曲路線の場合は中間角を表示するよう改良しました。
- 「基本観測」
 - オフセット観測時の円柱操作フローを改良しました。
- 「現場管理」
 - 現場名の文字数制限を 34 文字以内から 128 文字以内に増やしました。
- 「出来形データ」
 - 出来形観測データの任意点データ確認画面を観測点毎に表示するよう改良しました。
 - 延長や断面積も実測値を観測済の任意点を選んでも見られるよう改良しました。
- 「データ入出力」
 - データ出力の項目をカテゴリ化し、選択しやすくしました。

2. LANDRiV for Nivo/Nomad/T41、LANDRiV Office 共通で変更

- 「設計データ読み込み」
 - TS 出来形 XML 設計ファイルを読み込むとき、設計データの作りによって読み込みに時間がかかるケースがありました。処理方法を改良し高速化しました。
- 「SIMA 読み込み」
 - 点番号のみで構成された SIMA 形式の中心線データを読み込むとエラーとなる不具合を修正しました。

3. LANDRiV for SPS/S3c 共通で変更

- 外部通信機能が使えるよう改良しました（座標データ入出力/Nikon コマンドを搭載）。

4. LANDRiV for SPS で変更

● 「外部出力」

- サイトコンパクトで利用できる観測座標データを外部通信出力できるよう改良しました。

● 「外部通信」

- Nikon トータルステーションへ接続できるように改良しました（TSC3）。

5. LANDRiV for S3c で変更

● 「オートフォーカス」

- オートフォーカスが使えるよう改良しました。
 - ※ 初回オートロック時、トリガーキーを押した時

● 「バックライト」

- 反側画面のバックライトを使用できるようにしました。

6. LANDRiV Office で変更

● 「データ交換」

- ユーティリティ内データ交換ボタンを選択するとアプリケーションが終了する不具合を修正しました。
 - ※ 不具合発生条件は、パソコン上に Microsoft Mobile Device Center (Windows 7)、Microsoft Active Sync (Windows XP) がインストールされていない場合に限ります。

以上